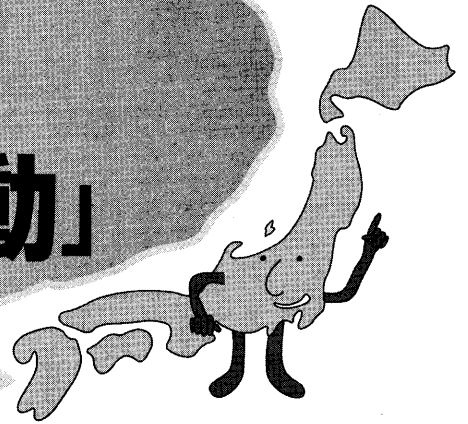


健康日本21 地方計画 実践編

圏域計画

「豊かにあれ 健康づくり運動」



「健康もてなしの店」や「健康御師」などで推進

三重県南勢志摩県民局保健福祉部（伊勢保健所）

丸山明美 浅井優子 中井芳 中本陽子 藤田典子 小野郁代
大西和哉 田中郁子 玉木友子 坂下優子 中野清一 石濱信之
橋本しげ子 出口勝信 北村純

三重県南勢志摩県民局保健福祉部（伊勢保健所）では、健康日本21の地方計画として、平成十三年三月に管内の全市町村と協働で圏域計画「豊かにあれ健康づくり運動」―南勢志摩地域健康づくり推進プラン―を策定し、現在、「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯の健康」「喫煙対策」の四つの重点課題について積極的に推進しています。事業実施から評価にいたる推進方法などについて報告します。



当プランのマスコットキャラクター
狐狸内先生とヘルピーちゃん

豊かで楽しい生活をめざし プロジェクトチーム設置

「豊かにあれ健康づくり運動」は、国の健康日本21と三重県版「ヘルシーピープルみえ・21」との整合性をはかりつつ、南勢志摩地域の課題を分析し、地域特性を反映した計画づくりをめざしました。

「豊かにあれ」とは、「ユ（有効）タ（達成感）がある・楽しい」カ（簡単）ニ（日常に溶け込む）ア（安全）レ（廉価）」という意味で、豊かな人生をめざし、楽しく日常に定着していく健康づくりを推進していきたいと考え、名づけました。

当管内の一七市町村は、健康日本21の九領域から重点的に取り組む課題を選定し、目標指標をおいて事業計画を立てました。市町村と協働で策定したこの計画の策定経過としてはまず、南勢志摩県民局保健福祉部全体で取り組む重点事業と位置づけ、企画、健康増進、児童の各グループにまたがる横断的なプロジェクトチームを立

ち上げました。医師、歯科医師、保健師、栄養士を中心とした業務担当者だけでなく、事務職や放射線技師も入った協働体制がとれるチームです。計画策定のための方針を話し合い、目標と役割を全員で共有化しました。

MIDORI理論の研修など 管内の市町村と協働

市町村の地方計画とする方針から、市町村担当者との話し合いを行いました。これまでは市町村との窓口は業務分担でしたが、チーム員を各市町村の相談窓口としたことで、縦割りでない健康づくり全体の相談が可能になったという意見が得られました。また、健康情報の提供や会議、ヒアリングなどで随時、市町村と話し合ったり、MIDORIモデル（ブリーフ・プロシード・モデル）や評価の研修会を開催したことで各市町村が目標を共有でき、計画や活動の共通理解が得られ、いままでの活動の見直しや目標